



趣旨 新型コロナウイルス禍の中で、希望の持てる未来を目指し、社会教育にできることは何か。→→→ 提言

第 1 章 生涯学習・社会教育への影響と課題 →→→ 新型コロナウイルス感染拡大が生涯学習・社会教育にもたらしたもの。

第 1 節 新型コロナウイルスの感染状況

- 1 全国の感染状況
- 2 本市における感染状況
- 3 市民生活への影響
- 4 社会教育施設、生涯学習事業への影響

第 2 節 新型コロナウイルス感染症に関する対応と課題

- 1 事業運営について（生涯学習センター・公民館・地域教育推進課・図書館）→→ 事業の課題と課題解決の方向性
- 2 施設管理について（生涯学習センター・公民館・地域教育推進課・図書館・避難所運営）→→ 管理の課題と課題解決の方向性
- 3 社会教育全体に通ずる課題解決の方向性



第 2 章 新しい時代の生涯学習・社会教育のあり方について →→→ 新型コロナウイルス禍における社会教育の新たな可能性。

提言内容

- 1 利用制限の基準作成
 - ◎利用制限のガイドライン・基準づくりと利用者への周知
 - ◎利用制限下における利用継続に向けた工夫
 - ◎ボランティアへの配慮（参加意向の確認）
- 2 ICTを活用した「つどい、まなび」
 - ◎社会教育施設における通信環境の整備と職員の習熟度向上
 - ◎オンライン会議アプリを活用したスマホ講座の実施
 - ◎対面可能時期での関係づくり、仲間づくり
- 3 ICTを活用した「つどい、むすぶ」
 - ◎メールやチャット、LINE 等のメッセージアプリの活用…例）図書館レファレンス業務、ボランティア間のメーリングリスト、若者の居場所等
- 4 大切にしている直接的「つどい」
 - ◎避難所としての社会教育施設（利用者と職員の共通理解）
 - ◎新型コロナウイルス感染症に関わる学習等を通して、市民にとって頼りになる施設へ。
 - ◎社会教育施設利用者間のつながりやすい環境づくり（Wi-Fi 環境の整備）
- 5 新しい「つどい まなび むすぶ」のために
 - ◎ICT 活用による多様なより多くの市民の（対面あるいは非対面での）つどい、まなび、むすぶ →→ 新しい学びと社会教育活動の創出

お声かけください オンライン(ZOOM) 活用推進支援チーム

インターネット接続やオンライン (Zoom) の活用を支援する。(市は) 生涯学習センターと中央公民館の職員で構成された公益のチームです。気になることや不安なことにご連絡対応します。

【その他】 おもに公民館や社会教育施設でのインターネット接続機器・接続環境(トライアル) →ネットへの接続方法・機器を持参しての接続代行 →必要な関係機器の設置・調整 Zoomの概要やライセンス、操作方法(体験・研修) →Zoomに関する質疑、実施の相談、操作体験・研修 Zoomの講座・会議等への活用方法の取組・提案・支援等 →Zoomを使った講座・会議方法等の具体的な導入例



『誰もが安心して安全に学び、元気を生み出す社会教育へ。』



さあ、新しい日常へ。 New Lifestyle, New Niigata

